

# 外部検証委員会（人財育成分野）次第

日時 令和元年 11 月 27 日（水）午後 5 時 30 分から  
場所 益子町役場休憩室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 配布資料の確認
- 4 案件  
（1）概要説明（教育長）

（2）施策ごとの検証（シート每ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

（3）その他

- 5 閉会

## 外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後10日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（人財育成分野）議事録

日時	令和元年 11 月 27 日(水) 17:30~18:35	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	手塚委員、鮎沢委員、加藤委員(欠)、森田委員
	職員	岡教育長、富賀瀬健康福祉課長、石塚学校教育課長、桜井生涯学習課長
	事務局	佐藤係長、深谷
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート、事前質問・回答一覧	

発言者	発言要旨
教育長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 出席者紹介</li> <li>3. 配布資料確認</li> <li>4. 案件                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 概要説明</li> </ol> </li> </ol>
委員	<ol style="list-style-type: none"> <li>(2) 施策ごとの検証</li> </ol> <p><b>○P.46 施策1 勁い心を持つ人財の育成</b></p> <p>学校の文化庁巡回公演事業は倍率が高く当選しにくい印象があったが、今年は多く開催されている。何か特別な働きかけを行ったのか。</p>
教育長	<p>平等性の観点から特別な働きかけは行っていない。応募には2系統あり、実際に来校して鑑賞するタイプと、体験するタイプがある。豊かな心を育むために校長会でも力を入れており、全校に応募していただいている。</p>
委員	<p>メディアではなく、直に触れる公演は貴重な機会である。現職のころに、狂言の鑑賞とワークショップによる体験の機会があり、特に実感している。子どもたちにとって貴重な機会なので、今後も積極的に継続してほしい。</p>
委員	<p>子育て教室、食育教室と関連して、親子が集う場は「ましココハウス」のほかにモンチッチがあると思うが、それぞれ参加者数はどのくらいか。モンチッチは孤独を感じやすい結婚により益子にきた方などには、育児の不安や喜びを共有しストレス解消にもなる良い場となっているようだ。</p>
健康福祉課長	<p>モンチッチは把握していないが、「ましココハウス」は当初想定していたよりも多くの方が来場している。「ましココハウス」は育脳プログラムの実践の場、モンチッチは遊ぶ場所として認知されており、それぞれ利用者層は分かれているようだ。</p>

委員	認定こども園ができたことにより、入園児の月齢が下がって利用者が減少しているように感じていた。交流によるストレス解消や虐待防止にもつながるため、ぜひ活用してほしい。施設の存在を知らない人もいると思う。
健康福祉課長	最近のお母さん方の情報源は、ネットを活用する機会が多いか。
委員	私はあまり得意ではありませんが、ネットを見ることによって解決しているのかもしれない。
委員	モンチッチは社協主催で実施している。スタッフとして参加しているが、今年度から毎週金曜日のみの開催、利用者数は毎回 10 数名である。モンチッチがやっていない場合は、「ましココハウス」を利用しているという声も聞く。情報はスマホで調べたり、「ましココハウス」で資料を入手したりすると聞く。
委員	<b>○P.48 施策2 学びを通して社会に貢献できる人財の育成</b> マイチャレンジは今後も継続か。
教育長	1 学期と 2 学期に分かれて実施した。内容は 1 2 月号の広報ましこに掲載する予定である。豊かな心や人間関係の育成につなげたい。
委員	以前は行きたいところに行けない子がいると感じていたが、どんな事業所に行ったとしても社会勉強になるので、良い取組だと思うようになった。電子黒板は数学や英語の授業ではよく使用すると聞くが、その他の教科ではどのように活用しているのか。
学校教育課長	ほとんどの教科で使用している。小学校の英語、中学校の理科・社会では特に使用する。授業の時間では見ることができないもの、例えば夜空を写すなどにも活用している。今後、デジタル教科書も使えるようになれば、より効果的に活用できるものと検討している段階である。
委員	国の補助金を活用してやっていただきたい。現場の教員では、新しい教材が増える中で教材研究の時間をいかに確保するかが課題となっている。小学校は幅広い教科の指導があり大変である。また、電子黒板の予約について教員間でのやり取りにも気を使うと想像される。これらは教員の働き方改革にも関連する。また、益子小は Wi-Fi が整備されていたので、タブレットと電子黒板をつないで授業に活用することも可能だったが、他校も整備されているのか。
学校教育課長	国の資料によると、従来の通信に変わり、より速度の速いもので国と直接の通信を視野に入れた検討を行っている。今後の動向を見定めていきたい。

委員	新しい教材活用のため、教員は数多くの研修に出席する必要もあり、年配の教員が苦勞するのではないかと心配である。研修時に業者のデモンストレーションを見ても、そこに行きつくまでの多数の作業時間が想像され負担感も大きい。
教育長	負担が大きいことは間違いなく、負担感を出来るだけ少なくするようにと導入しやすい単元から取り組むなどの配慮をしている。働き方改革については他の分野についても引き続き検討していきたい。
委員	社会科副読本とはどういった内容のものか。
教育長	3・4年生は単元に基づいて地域社会について学ぶ。副読本は、「わたしたちの益子町」という冊子で、地域教材として内容が構成されるよう町で作成しており、3年ごとに作り替えている。
委員	英検3級の補助は今後も続くのか。英検の勉強は学校の勉強に加えてためになるし、まだ高校受験には有効なのでありがたい制度だと思っている。
学校教育課長	続けていきたい。現在は再受験した場合でも対象となる。来年度が計画期間の最終年となるため、確実ではないが担当としては継続したい意向である。
	<b>○P.50 施策3 たくましく生きるための人財の育成</b>
委員	トップアスリート関連の事業は充実している。ニュースで予期せぬ事故があったので子どもたちが頑張りすぎて危険が伴わないよう大人や学校では先生方に気を付けて見守ってほしい。
委員	ましっこ体操のDVDが出来たということで、さっそく借りてきた。今後の普及についてはどのような計画か。
健康福祉課長	駅舎で開催した普及教室の参加者は、昼の部36名、夜の部6名だった。今後は、小中学校での普及も検討していきたい。高齢者の学級や自治会の集会でも要望があれば紹介していきたい。
委員	親しみやすい動画だった。話は変わるが、食育に関して、給食センターの栄養教諭が各学校に出向き指導しているが、その際の教材の予算は町で準備をしていないようだ。予算化しないのか。
学校教育課長	詳細は把握していないが、栄養教諭は自作したものや好みの教材を異動の際に持ち歩いて活用している現状があるようで、予算化してしまうと栄養教諭が異動する際に自分で作ったものを町に置いていかないといけなくなる。

教育長	中学校での資料はパワーポイント中心のものであった。親御さんとの良いコミュニケーションの時間になる。
委員	<p><b>○P.52 施策4 人財が育つ環境づくり</b></p> <p>町民大学のパンフレットを大学に配布したと聞いたが、町外者でも申し込み可能ということか。</p>
生涯学習課長	町民で大学に通っている場合もあるので、配布している。対象者は町内在住のみとしているが、今後対象者を広げる検討をしていきたい。また、年齢要件についても引き下げを検討したい。
教育長	遊びの達人の登録者も増えてきた。ぜひ皆さんにも登録をお願いしたい。
委員	登録した場合には講座を開催するということか。
生涯学習課長	トライやるスクールでの講座開催が多いが、その他の場面でも活躍していただきたい。
委員	公民館の空き部屋の開放は学生を対象としているのか。
生涯学習課長	自習室としての解放は、図書室の学習スペースが満員になった際に会議室の空き部屋を開放するようにしている。
委員	ありがたいと思うが、昼食を食べる部屋がない。他の町では、昼食時間帯に他の部屋を開放している例があるようだ。
生涯学習課長	エントランスホールのベンチで食事している姿を目にすることがある。通路のため、ゆっくり休めないかもしれないので今後検討していきたい。
	<p><b>(5) その他</b></p> <p>外部検証・意見シートは10日間程度を目安に、本日または後日ご提出お願いいたします。</p>
	<b>5. 閉会</b>